

## 志半ばで…

住民と共に歩んだ26年、千代田町政史上初の共産党議員として

去る平成19年2月18日、守屋健二議員が逝去されました。その死を悼み、在りし日の守屋議員について語っていただきました。



### 守屋議員の経歴

昭和58年7月17日～平成19年2月18日

千代田町議会議員、神埼市議会議員として  
通算7期当選



## 守屋健二議員の死を悼む

神埼市議会議長 藤瀬光正

神埼市議会議員故守屋健二君の突然の訃報に深い驚きと悲しみを禁ずることができませんでした。

守屋健二君は、昭和58年に千代田町議会議員に就任され、以来、千代田町議として連続6期22年8か月、合併し平成18年4月神埼市議会議員になられ、その間、総務常任委員会をはじめ、文教社会常任委員会、土木産業常任委員会の要職に就かれ、そして縦横に活躍され、多大の功績を積まれたのであります。

ここに「議会だより第4号」をもって君を追悼するにあたり、昨年の12月定例会で壇上に進み見事な一般質問をされた雄姿が昨日のこのように思われます。

君の多年にわたる市政に残された数々の功績は、永く神埼市議会史の上にとどめられるものと確信します。

私たちは、君が築き上げようとした、安心して暮らせる神埼市民の生活環境づくり実現への情熱を引継ぎ、市政の発展のために尽くすことをお誓いするものであります。

## 守屋議員の思い出

元千代田町議会議長 中村忠男

守屋議員の突然の死、しかも交通事故。この知らせを2月18日の早朝に受け取った時、まさかそんなことは、とわが耳を疑いました。これからの神埼市のこと、千代田地区のことを思うと残念でなりません。守屋議員とは政治的立場は違っていましたが、住民の「くらしや福祉、教育」の向上のためにこそ議員はあるべきとの活動姿勢には、私は数多くのことを学ばせていただきました。守屋議員が議員生命をかけて取り組んでいた、城原川ダム建設問題など、重要課題を今後議会がどう取り組むのか、一市民としてしっかりと見守っていきたいと思います。合掌